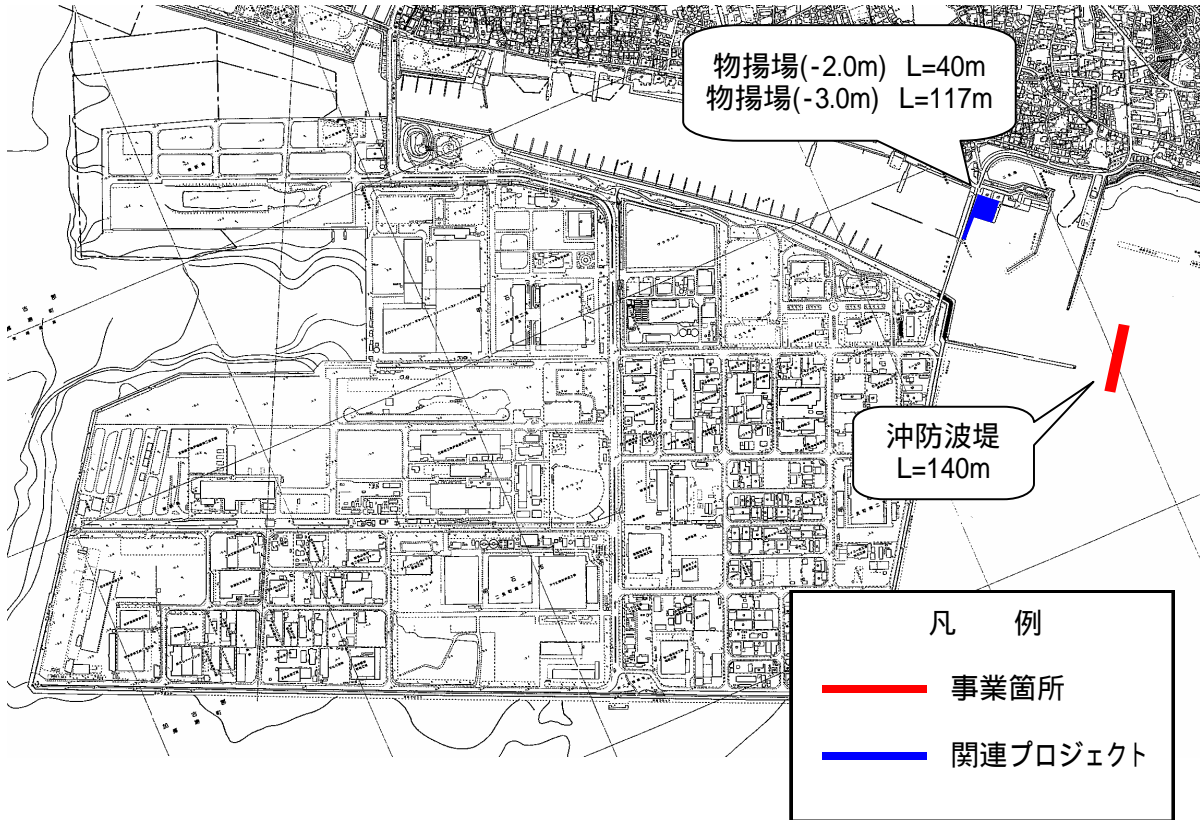


## 投資事業評価調書（新規）

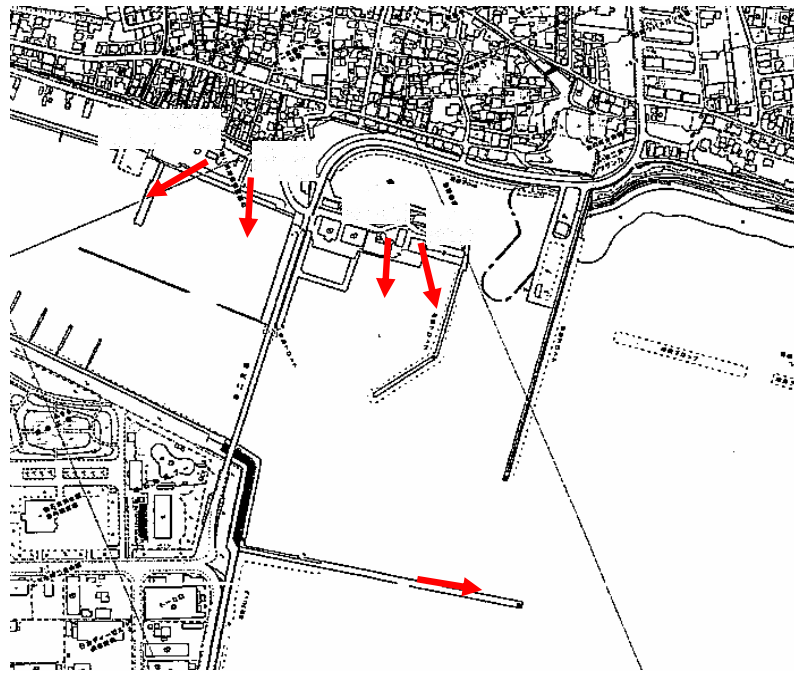
部課室名	港湾課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	港湾課長 澄田 泰造 (建設係長 東 弘昌)	内線	4440 (4450)
------	-----	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	港湾事業	事業名	事業区間	総事業費		7.0億円
		東播磨港改修	二見地区	内地補償費		億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度	
明石市二見町			H20	H20	H26	
事業目的			事業内容			
東播磨港二見地区では、平成16年の台風第16号及び18号の高潮と波浪により、漁船・漁業施設、及びプレジャーボートに被害が生じた。防波堤を整備することによって港内の静穏度を確保し、漁船・プレジャーボートの安全な係留を確保すると共に、効率的な漁業活動を可能にすることを目的とする。			防波堤 L=140m  [負担割合 国：5/10 県：5/10]			
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心  地域のニーズ		<ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨港二見地区では、物揚場と防波堤を一体的に整備する小型船(漁船)だまり整備プロジェクトを進めてきており、地元漁協の強い要望により物揚場から整備を行い、平成17年度に完成している。</li> <li>平成16年の台風第16及び18号の来襲によって高波が港内に侵入し、物揚場直背後の海苔加工場のポンプがすべて故障し、海苔養殖用のロープや網、ブイが流されるなどの被害が生じた。また、二見地区にはプレジャーボート係留施設があるが、係留していたプレジャーボートのうち7隻が損傷(2隻は転覆)する被害が生じた。</li> <li>平成16年の台風の被害は、当時の設計波を超える大きな波浪が、南南東の方向から来襲したことによる。そこで、この波を含む観測値から設計波の見直しを行い、見直した設計波に対して港内の静穏度を確保するために、当初計画していた防波堤の整備位置を変更した。</li> <li>防波堤を整備することにより、港内の静穏度を確保し、効率的な漁業活動及び漁船・プレジャーボートの安全な係留が可能となる。</li> <li>東播磨港二見地区では数多くの漁船が係留しており、海苔養殖などの漁業活動の拠点となっている。港内静穏度の確保のための防波堤整備は、地元漁業関係者から強く望まれている。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 有効性 効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>港内の静穏度が高まることによって安全な係留が可能となり、効率的な漁業活動が可能となる。</li> <li>費用便益比 B/C=2.4</li> </ul>				
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>防波堤に消波ブロックを設置することにより、藻類の着生基盤環境を創出すると共に、ブロックの空隙による漁礁効果が期待できる。</li> </ul>				
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な係留及び、効率的な漁業活動を可能とするために早期整備が望まれている。</li> </ul>				

# 【東播磨港二見地区 計画平面図】



【東播磨港二見地区 平成16年台風第18号来襲による被災状況】



写真



写真

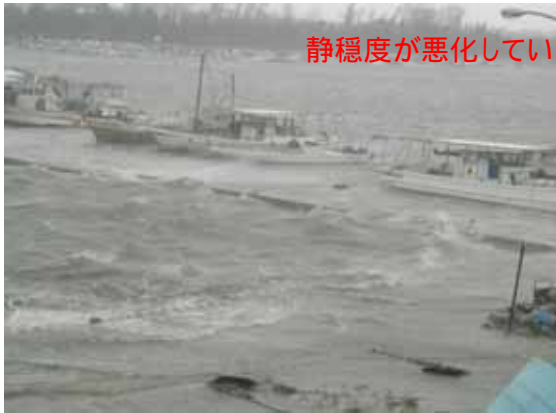


写真

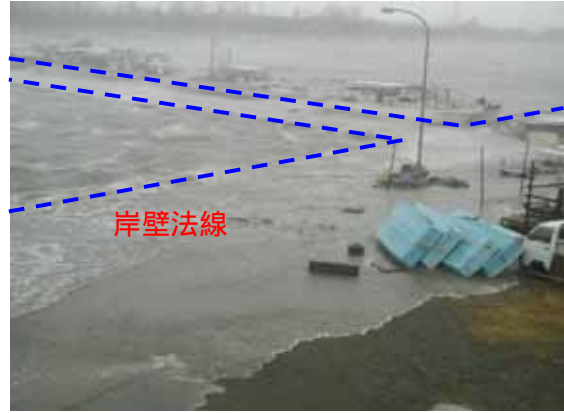


写真

【東播磨港二見地区 平成16年台風第18号来襲による被災状況】



写真



写真

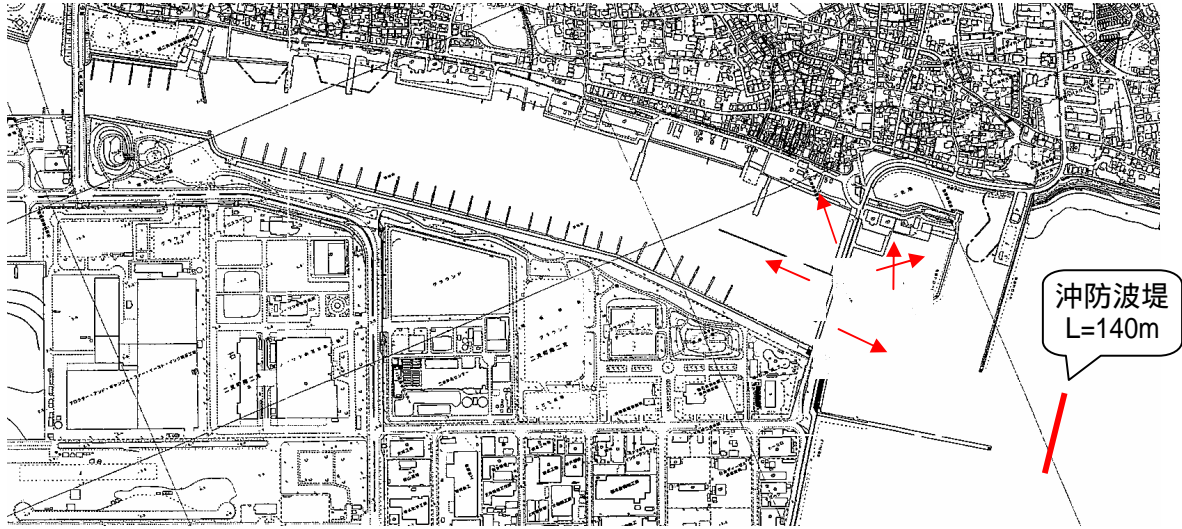


写真



写真

【東播磨港 二見地区 現況写真】



写真



写真

## 【東播磨港 二見地区 現況写真】



写真



写真



写真

## 【工程表】

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
調査・設計									
工事									

## 【費用便益比(B/C)】

### 1. B/Cの概要

・防波堤(事業箇所)及び係留施設(関連プロジェクト)を対象にして、費用便益比を算出する

	事業を実施しない場合 (without時)	事業を実施する場合 (with時)
水揚施設の施設延長	160m	200m
休けい施設の施設延長	605m	703m

### 2. 便益(B)の項目

主 な 便 益 (B)	算出方法
滞船コスト削減便益	水揚施設の整備により、水揚待ちによる滞船時間が削減される。
多そう係留コスト削減便益	休けい施設の整備により、多そう係留隻数が削減する。
作業コスト削減便益	ふ頭用地の整備により、漁具の洗浄、乾燥、仮置き等の作業時間が短縮される。

### 3. 費用便益比(B/C)算出根拠

便 益 額 (B) (百万円)		費 用 (C)			B/C
		総 費 用 (百万円)	事 業 費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
滞船コスト削減便益	946	875	845	30	2.4
多そう係留コスト削減便益	294				
作業コスト削減便益	799				
残存価値	26				
計	2,065				

### 4. 算定に用いた資料

港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル - 2004 -